

2019年8月26日

23日の米・中報復関税の応酬と米国株安について

23日の米国市場で NY ダウが▲623 ドル安(▲2.4%)となりました。中国が750億ドル相当の対米報復関税措置を発表し、これに対してトランプ大統領が制裁強化を予告するなど米中対立の激化が懸念された形です。以下に、本件に関します弊社の見解と、今後の投資環境見通しについて述べさせていただきます。

まとめ

- 1. 23日の米国株は直近安値を下回らず、対中関税政策の限界を織り込んでいることを示唆：**
1日発表の対中制裁第4弾が米経済への影響を理由に13日に一部先送りされた段階から、市場では米政権による対中関税政策の限界が織り込まれ始めているとみられます。
- 2. 米・中対立による不確実性の高まりに対して主要国は金融・財政政策で対応の用意：**
FRB（米連邦準備制度理事会）のパウエル議長は23日の講演で、9月に連続利下げを実施する意向をにじませました。9月には ECB（欧州中央銀行）の追加緩和も確実視されています。
- 3. トランプ大統領は、再選に向け米景気再加速に注力が必要な時間帯に：**
再選を目指すトランプ大統領にとって、「米国景気の悪化」は最大の障害と考えられます。米・中問題が米景気へ及ぼす悪影響に細心の注意が必要な時間帯に入ってきたと考えられます。

1. 23日の米国株は直近安値を下回らず、対中関税政策の限界を織り込んでいることを示唆

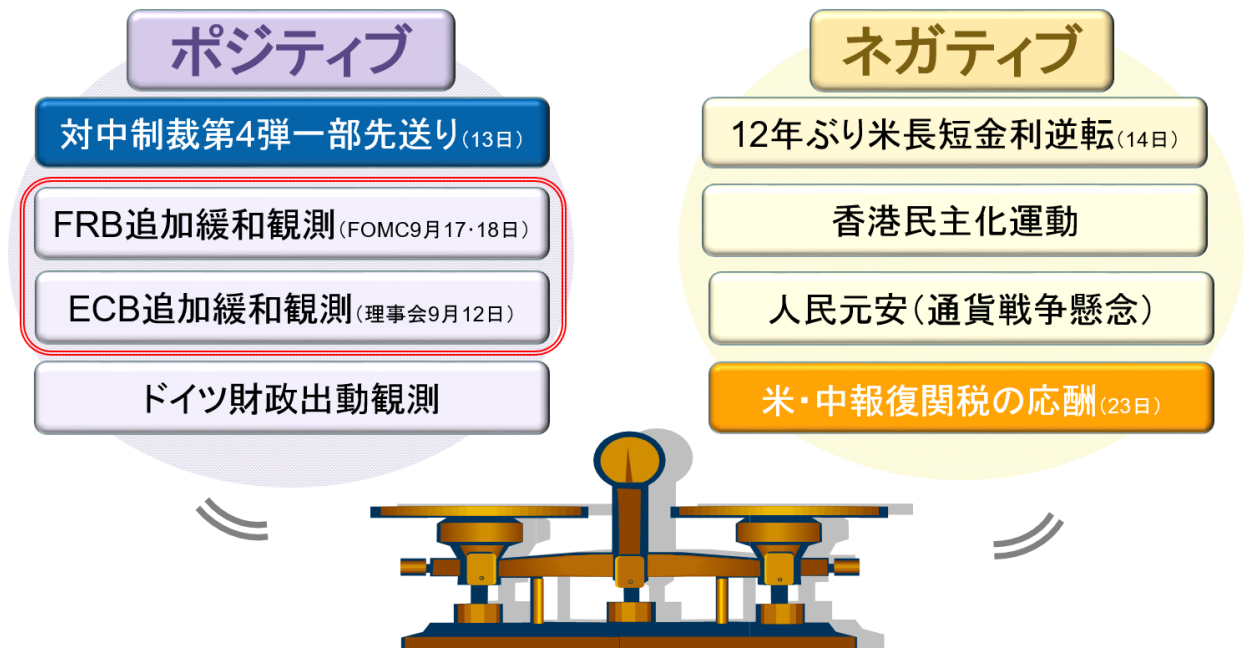
23日の米国株は大幅安となりましたが、NY ダウ、S&P500、ナスダック総合の主要3指数はいずれも8月に付けた安値を下回らず取引を終えています。背景には、今月1日に発表された制裁関税第4弾が、13日には米景気への影響を理由に一部先送りされたことで、関税政策の限界を市場が見透かし始めていたことが挙げられます。

今後は、人民元安、香港民主化運動など市場がまだ織り込み切れていない問題に波及するかが焦点と考えます。

2. 米・中対立による不確実性の高まりに対して主要国は金融・財政政策で対応の用意

パウエル FRB 議長は23日のジャクソンホールで行われた講演で、“米・中通商問題を注視し、金融政策を調整していく”とした上で、市場の利下げ期待（22日時点で年内2回、来年2回の追加利下げを織り込み）を事実上追認することで、次回9月のFOMCで連続利下げを行う意向をにじませました。9月には ECB（欧州中央銀行）も追加緩和を実施することが確実視されているほか、ドイツが財政出動の検討を始めるなど、主要国の間では財政面からも景気刺激策の必要を唱える声が強まっています。米・中通商摩擦による不確実性の高まりに対して、金融・財政両面から相応の政策対応が採られることが見込まれます。

8月1日の対中制裁第4弾発表後に市場を動かした主な材料



3. トランプ大統領は、再選に向け米景気再加速に注力が必要な時間帯に

今年に入り、トランプ大統領の対中強硬姿勢がたびたびマーケットの混乱をもたらしてきました。また、米・中対立による不確実性の高まりは企業心理の悪化をもたらし、米国内でも製造業活動の停滞につながっています。ただ、再選を目指すトランプ大統領にとって、中国との対立激化が米国景気の悪化を招いては、本末転倒、となります。2020年の大統領選挙まであと1年2ヵ月余りに迫る中、トランプ政権としては、米中対立が米国景気に与える影響に細心の注意を払う一方、「強いアメリカ経済」をアピールするために、米国景気の再加速に注力が必要な時間帯に入ってきたと考えられます。

米・中通商問題が早期に解決するとは期待し難いものの、この先、トランプ政権の対中交渉戦術に何らかの変化が生じる可能性には留意が必要と考えます。

以 上

本資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。本資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。本資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします「投資信託目論見書（交付目論見書）」および一体としてお渡す「目論見書補完書面」を必ずご確認ください。